



# 学校だより 章

学校教育目標 自主・自立～活力と魅力あふれる学校を目指して～

10号

令和7年1月27日  
市川市立福栄中学校

## 学校評価の結果(後期)

日頃より、本校の教育活動につきまして、ご理解ご協力ありがとうございます。さて今回ご協力いただきました後期の学校評価の結果（各設問の肯定的評価の割合）についてお知らせいたします。

この結果を踏まえ、学校運営、教育活動や教育環境の充実に努めてまいります。今後も家庭・学校・地域の連携のもと、ご支援をいただきますようお願いいたします

令和6年度学校評価後期（6年12月実施）			+4P↑	-4P↓	R6前期 肯定的 解 答	市内平均 R6前期 肯定的 解 答	R6後期 肯定的 解 答	前期後 期比較
1	生徒	友だちの良いところを見つけることができますか。	94	%	94	%	94	%
	保護者	お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができていますか。	89	%	90	%	90	%
2	生徒	目標を持って学習したり、生活したりしていますか。	79	%	80	%	80	%
	保護者	お子さんは、目標を持って学習したり生活したりしていますか。	68	%	70	%	78	%
3	生徒	調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	72	%	75	%	73	%
	保護者	お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。	63	%	66	%	70	%
4	生徒	日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	54	%	52	%	53	%
	保護者	お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。	35	%	46	%	44	%
5	生徒	日々の学習で、タブレットを活用していますか。（4：毎日 3：週2～3日 2：週1日 1：していない）	46	%	64	%	36	%
	保護者	お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。	30	%	40	%	28	%
6	生徒	日頃から運動やスポーツに親しんでいますか。	73	%	73	%	69	%
	保護者	お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか。	70	%	76	%	66	%
7	生徒	給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。	83	%	84	%	83	%
	保護者	お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。	83	%	80	%	89	%
8	生徒	学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。	35	%	44	%	37	%
	保護者	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか。	74	%	84	%	67	%
9	生徒	困ったことがあった時に相談できる先生がいますか。	65	%	73	%	68	%
	保護者	学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。	71	%	70	%	57	%
10	生徒	学校の活動では、体験（見る、聞く、触れる）や交流が取り入れられていると思いますか。	83	%	83	%	77	%
	保護者	学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。	82	%	80	%	71	%
11	生徒	先生たちは話を聞いてくれますか。	88	%			88	%
12	生徒	先生たちはしっかり指導してくれますか。	91	%			90	%
13	生徒	あなたは、進んであいさつや掃除に取り組んでいますか。	92	%			94	%
14	生徒	主体的に（自分の考えを持ったり、役割を自覚して）授業や行事に参加していますか。	88	%			89	%
15	生徒	自主学習（家庭学習・放課後学習クラブ・学びクラブ等）に取り組んでいますか。	62	%			61	%
16	生徒	学校は楽しいですか。	87	%			86	%

解答者数：前期 保護者419名：53.2% 生徒611名：77.6%

解答者数：後期 保護者215名：27.2% 生徒668名：84.5%

## 2. 考 察

### (1)友だちの「良さを認め合う」について

他者の意見や良さを認めつつ、自分の意見を持って話し合いをして他者と協力しながら自分たちなりに答えを導き出すことが、これから正解がない社会を生き抜くために必要となります。特に2学期はさざなみ祭の合唱を通して多くの生徒が学級の仲間とお互いの良さを認め合えたと考えております。

3学期も継続して、授業での話し合い活動や学級の自治活動、学校行事を通してお互いの良さを認め合える人間関係の構築に努めていきたいと思います。

### (2)「目標を持って学習したり生活したりする」(3)「自分から調べる、自分から興味を持つ」について

1年生は1・2学期、学習面において、授業規律をしっかりと定着することを大切にしてきました。3学期は、学校全体で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて教員同士お互いの良い取り組みを参考にしながら、授業改善を図ってまいります。また生徒の専門委員会の活動や学級活動等の主体的な自治活動も継続して取り組んでまいります。また今年度も生徒による校則検討委員会を開催し、校則の見直しを行いました。その内容を来年度に反映させていきます。

### (4)「読書に親しむ、図書館資料での調べ学習」について

朝読書週5回×10分、1週間で50分の読書の仕方について学校司書を中心に「図書館だより」等で生徒に継続して啓発していきます。また図書館の蔵書を生徒の興味のある新しいものに出来るだけ入れている最中です。そして図書委員会の生徒による読書の推進につながる取り組みを検討してまいります。調べ学習について端末を活用した方法が主流になっている現状を踏まえ、図書館資料と端末を併用した有効な活用の仕方を模索したいと考えております。ご家庭でも読書について話題にしていただけると助かります。

### (5)「タブレットの活用」について

2学期以降は、タブレットを活用した授業が少しずつ行われるようになりました。インターネットでの検索等にとどまらず、端末内にある学習支援ソフト等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る必要があります。2学期にもICTを活用した授業について教職員研修を行いました。今後はICTを活用した先進的な教員の授業実践を見本にして、全教員が対面とICTそれぞれの良さを併用した授業が出来るよう取り組んでいきたいと考えております。

### (6)「運動やスポーツに親しむ」について

生徒たちの運動やスポーツをする機会は、体育の授業では集団行動が定着しており、主運動をする時間がしっかりと確保出来ています。逆に屋休みの外遊びは冬の寒い時期になり、外で遊ぶ生徒が減ってしまっていることも考えられます。学年末には体育委員主体の球技大会等体育的行事を開催して運動に親しむ機会を設定していきます。

また2学期末インフルエンザが流行しましたが、本校では生徒一人一人の予防行動により、学級閉鎖することなく無事乗り切ることが出来ました。3学期も引き続き、インフルエンザ等感染症への予防行動を厚生委員の生徒による呼びかけ等を行い、健康への意識を高めてまいります。

### (7)「望ましい食習慣」について

2学期は保護者対象の給食試食会を開催して多数の参加者に試食していただきました。概ね肯定的な感想をいただきました。給食については栄養教諭が毎日、調理員の方と協力して、安心安全と栄養を考えて福栄小学校と本校分を調理して、給食を提供しています。そして給食の時間には本日の献立の栄養分等を放送で紹介し

ています。また給食の時間が短いとの話をいただきましたが、1年生も時間を守って席について配膳等も円滑になり、時間的にゆとりを持って食べられるようになってきました。

## (8)「学校の活動で、地域の方と共に学ぶ機会」について

2学期、3年生は、地域の銀行の方に来ていただき金融教育を行いました。1年生は地域の方が各学級に入り道徳の授業を行いました。3学期は1・2年生とも近隣の高校の先生を招くなどしてキャリア教育を計画しています。

生徒の地域でのボランティア活動は、自治会の餅つき等、多数の生徒が参加して地域に貢献しています。学校としてもボランティア活動が地域の方との交流の中で社会勉強になると考えており、地域の方からも本校生徒の働きぶりに高評価をいただいております。今後も継続してボランティア活動を推奨していきたいと考えております。

※ボランティア参加率(7.1.24現在)全校生徒の23%延べ186名(活動の様子はHPをご覧ください。)

## (9)「困った時に相談できる先生、きめ細やかな支援体制」について

学期毎に教育相談を実施して、生徒の悩み事等に適切に対応できるよう努めてまいります。また、教職員と生徒、保護者の信頼関係の構築に向け、教職員の資質向上に努めてまいります。また教職員だけでは対応できないような事に関してはチーム学校として校内のカウンセラー等の力を借りて支援していきます。外部機関とも積極的に連携を図っていますので困った時にはご相談ください。

今年度はコロナ禍で中止になっていた職場体験を復活しました。たくさんの行事があり、教職員が行事等の準備で忙しく生徒と向き合う時間をとる余裕が無くなっている現状があります。そこで来年度はこの反省を踏まえ、行事を精選して生徒と向き合える時間を確保して生徒に向き合うゆとりが持てるようにしてまいります。

## (10)「体験学習」について

(8)の通り、キャリア教育等において今後も目的を明確にして、外部の企業や地域の高等学校と連携しながら内容を精選して体験活動を推進してまいります。3学期に1・2年生が心のバリアフリー教育として、パラオリンピックの選手を招いて体験学習を行います。そして各教科の授業では一人一実験をモットーに授業を行っている理科のように、本物に触れて生徒の興味関心を高める体験をこれからも大切にしていきます。

### ◎記述いただいた内容について(15件)

様々なご意見をいただきました。内容は教職員で共有し、学校教育の向上につながるよう取り組んでいきます。生徒の将来を見据え、より良い成長のためという部分で保護者の方と考え方をすり合わせしながら教育活動を進めていければと考えております。

なお、今回いただいたご意見へは、お答えできる範囲で答えさせていただきます。

### ※見方：○保護者からのご意見、→学校の回答

#### ○生徒指導についてのご意見への回答

→たくさんのご意見ありがとうございました。1年生の生徒指導は、教育相談等において生徒の声を聞きながら、対応していきます。2学期より行っている全教職員による見守りを継続すると共に、スクールソポーター(警察OB)からの助言をいただきながら進めていきます。併せて生徒達の自治活動を進めて学年全体の生徒の自治能力を育成していきます。

○タブレットの性能不足で学習することが困難、また先生方のPCの知識不足で生徒たちに指導することが出来ていない為先生方の教育をしてほしい。

→教職員のICTに関する知識も個人差があります。生徒にとって有効なICTの活用ができるようこれからも研修を積んでまいります。

○大野高校の体験を、興味ある学科を受けさせて欲しいです。

→体験を希望される場合は、まずは担任に相談してください。必要な対応をさせていただきます。

○校外学習のしおりに時間がとられすぎだと思います。（試験前や試験中）

→校外学習は中学校卒業時の進路選択につながる大切な学習機会と捉えています。校外学習の目的として訪問先の歴史や文化に実際に触れること、班活動を通して各自が役割を担い主体性や社会性の育成、事後に見たり体験したことをまとめる力をつけること等が挙げられます。

これらの目的のためにしおり作成は大切な学習と考えております。生徒たちが見通しを持って校外学習の準備が出来るように準備期間等について検討してまいります。

○夏の部活動について、今年は猛暑のため熱中症アラートが毎日発令されていましたが、校庭や体育館で部活動が行われていました。部活中、部活後に嘔吐や激しい頭痛など体調不良の生徒もいたそうです。体育館内では扇風機を回したり、こまめに休憩をとったりして先生方も対策をして下さっていますが、熱中症アラートが出るような暑さの中の活動は危険だと思います。

→生徒たちの健康を一番に考えた上で活動が出来るよう配慮して対応していきたいと考えております。本校では千葉県教育委員会「学校における熱中症対策ガイドライン」に従い、活動前に活動場所の暑さ指数を計測して、暑さ指数に合わせた活動をするようにしています。併せて活動中、活動前後の健康観察や小まめな水分補給をするよう教職員で共通理解を図って対応しています。ご家庭でもお子様が寝不足や食事を抜く等がないように健康管理へのご協力お願いします。

何か心配なことがありましたら、遠慮なく顧問に相談してください。よろしくお願ひします。

○色々な保護者、子どもがいるのでとても大変だと感じております。どうかお身体をこわさないようになさって下さい。

→ありがとうございます。教職員一同、保護者の皆様と共に教育活動に取り組んでいきます。

○席替えにあたり、班長、副班長は推薦と聞いています。それは嫌だと思っても引き受けなくてはならない。少しはやってみたいと思う子もできない。これは今後も続けていくのでしょうか？やりたくないのに、任されることが多く、それをストレスに思う子もいます。どうか再検討をお願いしたいです。

→将来社会に出て自分に与えられた役割を果たしていくことが求められます。そのため学校生活でも班活動を通して班長や副班長以外の役割も含め、全員が役割につき班の一員として役割を果たす経験を通して社会性を身に付けさせたいと考えております。また役割を果たして、仲間から「認められること」が大人から褒められるより大きな自信になります。このような考え方から班長や副班長に推薦されたことを考えていただければと思います。その上で心配であれば担任に遠慮なく相談してください。お子様の成長につながることと一緒に考えていくべきだと思います。

またやる気のある子に関しては行事の実行委員等で立候補する場面があります。

○手紙が全然出てこないときがあるので、ペーパーレスも考慮し、スキットでお知らせしてもらえるといいかな、と思いました。

→生徒たちが責任を持って手紙を保護者に届ける、提出物を期日までに提出する等、社会に出て必要な力の育成と、ペーパーレスとのバランスを考えた対応を検討してまいります。